

2025年度 医学科1年次解剖学予定表

ユニット名	月日	曜日	時限	講義実習名	分類	場所	担当者	到達目標
ユニット1 (医学を学ぶ上での基盤を構築する)	8月20日	水	1	ヒトの体と病気1	医学序論	講義室	竹田	正常と異常の概念を理解し、病気の成り立ちと社会がどのような関係をもつかを考える。
	8月20日	水	2	ヒトの体と病気2	医学序論	講義室	竹田	
	8月20日	水	4	解剖学総論	解剖学講義	講義室	竹田	これからの医学の学習方法と解剖学の基本的な概念を理解する。
	8月20日	水	5	運動器総論1	解剖学講義	講義室	竹田	身体を支え動かす仕組みの理解:骨格と筋肉の基本的な分類と構築を学ぶ。
	8月20日	水	6	運動器総論2	解剖学講義	講義室	竹田	
	8月21日	木	1	内臓学総論1	解剖学講義	講義室	竹田	身体に必要な酸素を取り込み全身に分配する仕組みの理解:呼吸器、循環器の概要
	8月21日	木	2	内臓学総論2	解剖学講義	講義室	竹田	身体に必要なエネルギーを取り出す仕組みの理解:消化器(管と腺)の概要
	8月21日	木	4	内臓学総論3	解剖学講義	講義室	竹田	身体のおもむき排出したり個体を再生産する仕組みの理解:泌尿生殖器の概要
	8月21日	木	5	内臓学総論4	解剖学講義	講義室	竹田	身体のおもむき排出したり個体を再生産する仕組みの理解:骨盤臓器の概要
	8月22日	金	1	神経解剖学総論	神経解剖学	講義室	竹田	身体を制御する仕組みの理解:神経系の構造と機能の概要を学ぶ。
	8月22日	金	2	歯科学基礎	解剖学講義	講義室	井上	口腔と歯に関する基本的な解剖学と組織学を学び、口腔保健の基盤を形成する。
	8月22日	金	4	細胞生物学1	組織学講義	講義室	竹田	細胞の特徴を学び、主に細胞膜、細胞核、細胞骨格の構造と機能を理解する。
	8月22日	金	5	細胞生物学2	組織学講義	講義室	竹田	主要な細胞小器官の構造と機能を理解し、細胞構造と機能を理解する上での足場をつくる。
	8月25日	月	1	組織学総論1	組織学講義	講義室	竹田	光学顕微鏡の正しい使用法の理解 外界との境界にある組織:個体の統一性の理解。
	8月25日	月	2	組織学総論2	組織学講義	講義室	竹田	上皮組織の接着構造、基底膜と付属器(腺組織)の構造と機能を理解する。
	8月25日	月	3	組織学総論3	組織学講義	講義室	竹田	
	8月25日	月	4			5階実習室		
	8月25日	月	5	組織学実習1	組織学実習	5階実習室	全員(竹)	光学顕微鏡の原理を理解し正しい使用法を実践する。光学顕微鏡で見える上皮組織の構造を理解し、特徴を抽出した適切なスケッチで表現し、他者にわかるように説明する。
	8月25日	月	6			5階実習室		
	8月26日	火	1	骨学講義1	解剖学講義	講義室	有澤	脊柱を構成する椎骨群と、胸郭を構成する胸骨、肋骨群に関して学ぶ。
	8月26日	火	2	骨学講義2	解剖学講義	講義室	有澤	
	8月26日	火	4			5階実習室	有澤	脊柱と胸郭の構造を骨標本を観察しながらその骨格を学ぶ。また構成する個々の骨に共通する特徴を理解し、図示して説明できるようになる。
	8月26日	火	5	骨学実習1	解剖学実習	5階実習室	有澤	
	8月26日	火	6			5階実習室	有澤	
	8月28日	木	1	組織学総論4	組織学講義	講義室	竹田	真皮や皮下結合組織を中心としたいわゆる固有結合組織質の基礎知識を学ぶ。骨、軟骨などの硬組織と脂肪、血液など特殊結合組織の概要を学ぶ。
	8月28日	木	2	組織学総論5	組織学講義	講義室	竹田	
	8月28日	木	3	組織学総論6	組織学講義	講義室	竹田	
	8月28日	木	4			5階実習室		光学顕微鏡で見える結合組織の構造を理解し、特徴を抽出した適切なスケッチで表現し、他者にわかるように説明できる。(骨、軟骨、血球、脂肪)
	8月28日	木	5	組織学実習2	組織学実習	5階実習室	全員(竹)	
	8月28日	木	6			5階実習室		
	8月29日	金	1	組織学総論7	組織学講義	講義室	竹田	筋組織の基本的分類を理解し、3種それぞれの筋組織の構造と機能の違いを説明できる。筋収縮の分子機構を理解し、形態と機能の連関を説明できる。
	8月29日	金	2	組織学総論8	組織学講義	講義室	竹田	
	8月29日	金	4			5階実習室		光学顕微鏡で見える筋組織の構造を理解し、特徴を抽出した適切なスケッチで表現し、他者にわかるように説明できる。
	8月29日	金	5	組織学実習3	組織学実習	5階実習室	全員(竹)	
	8月29日	金	6			5階実習室		
	9月1日	月	2	組織学総論9	組織学講義	講義室	宮下	神経組織の基本構築を理解し、その多様性の中に神経系の法則性を捉える。
	9月1日	月	4			5階実習室		光学顕微鏡で見える神経組織の基本構造を理解し、特徴を抽出した適切なスケッチで表現し、他者にわかるように説明できる。特に神経細胞(運動、感覚)の形態を理解する。
	9月1日	月	5	組織学実習4	組織学実習	5階実習室	全員(宮)	
	9月1日	月	6			5階実習室		
ユニット2(体幹表層の解剖を通じて解剖学の基礎を学ぶ)	9月4日	木	1	解剖学各論1	解剖学講義	講義室	竹田	解剖学実習に必要な解剖学と組織学の復習:皮膚と筋骨格系、脈管、神経の関係、脊髄神経の構造、皮筋や体壁、体腔とは何かを学び、体の基本構造を理解する。
	9月4日	木	2	解剖学各論2	解剖学講義	講義室	竹田	
	9月4日	木	3	解剖学各論3	解剖学講義	講義室	竹田	
	9月4日	木	4			B2実習室		解剖学実習の基本(用具の使用法など)を学び、そこで見える神経、血管等がどこからきているのかを理解する。また主な構造の名称と機能を覚える(藤田・寺田 [FT] §1-3)。
	9月4日	木	5	解剖学実習1	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)	
	9月4日	木	6			B2実習室		
	9月5日	金	1	発生学1	発生学講義	講義室	竹田	医学における発生学の位置づけと学習の意義、発生学、遺伝学の基本概念を学ぶ。
	9月5日	金	2	発生学2	発生学講義	講義室	竹田	初期発生から原腸形成、三胚葉形成、神経胚、咽頭胚などのマイルストーンを学ぶ。
	9月5日	金	3	発生学3	発生学講義	講義室	猫沖	骨・筋の発生と形成、手足形成について学ぶ。
	9月5日	金	4			B2実習室		前胸壁および前腹壁浅層の筋の構造、位置、機能を学ぶ。また、頸神経叢と舌骨下筋群の構造と機能を学ぶ。頸神経叢を例に神経叢という構造の意味を理解する (FT §4-5)。
	9月5日	金	5	解剖学実習2	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)	
	9月5日	金	6			B2実習室		
	9月8日	月	1	組織学各論1	組織学講義	講義室	中倉	脈管の種類、構造、機能の理解。動脈と静脈の違い。毛細血管の基本。心臓の構造とその組織像を理解する。特殊心筋の特徴を理解する。
	9月8日	月	2	組織学各論2	組織学講義	講義室	中倉	
	9月8日	月	3	組織学各論3	組織学講義	講義室	中倉	
	9月8日	月	4			5階実習室		動脈、静脈、毛細血管の構造の違いを理解し、その違いを反映させた正確なスケッチで表現し、他者にその要点を説明できる。
	9月8日	月	5	組織学実習5	組織学実習	5階実習室	全員(中)	
	9月8日	月	6			5階実習室		
	9月9日	火	1	組織学各論4	組織学講義	講義室	中倉	リンパ組織の概念を理解し、その構造と機能を学ぶ。胸腺、脾臓、MALTなど。皮膚の構造と機能、皮膚付属器の構造と機能を学ぶ。
	9月9日	火	2	組織学各論5	組織学講義	講義室	中倉	
	9月9日	火	3	組織学各論6	組織学講義	講義室	中倉	
	9月9日	火	4			5階実習室		皮膚とその付属器、胸腺、脾臓、リンパ節、リンパ小節の構造のそれぞれ違いを理解し、その違いを反映させた正確なスケッチで表現し、その要点を説明できる。
	9月9日	火	5	組織学実習6	組織学実習	5階実習室	全員(中)	
	9月9日	火	6			5階実習室		
	9月11日	木	1			B2実習室		背部の主な筋肉(僧帽筋、広背筋など)の構造、位置、機能を学び、体幹がどのように構築されているかを理解する(FT §6-7)。
9月11日	木	2	解剖学実習3	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)		
9月11日	木	3			B2実習室			
9月11日	木	4			B2実習室		頸動脈鞘、大・小胸筋を観察し、鎖骨下動脈枝を一部確認する。腕神経叢と鎖骨下動脈の位置関係を理解する。頸動脈鞘内にある迷走神経を同定する(§8-9)。	
9月11日	木	5	解剖学実習4	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)		
9月11日	木	6			B2実習室			
9月12日	金	1	統合講義・演習1	統合講義	講義室	竹田	ここまで学習した内容に基づいて統合的な演習を行う。学生と双方向性の学習課題を共有し、プレゼンテーションの基礎を学ぶと共に同時に試験に備えた復習も実施する。	
9月12日	金	2			講義室	竹田		
9月12日	金	4			B2実習室		静脈角を確認し、鎖骨下動脈の全容を理解する。周辺に存在するリンパ節を同定する。ユニット2の復習をし、主な構造の位置関係を再度確認する(§10)。	
9月12日	金	5	解剖学実習5	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)		

74		9月12日	金	6			B2実習室		
75	① 試験	9月16日	火	1	定期試験	本試験1	講義室	担当者	ここまで学習した内容(1~74回まで)に基づいて統合的な試験を行う。必ず覚えるべき知識を問うると同時に解剖学、組織学を跨いだ総合的な観点からの知識も問う。
76		9月16日	火	2			講義室		
77	ユニット3(上肢の構造と機能を説明できるようにする)	9月18日	木	1	解剖学各論4	解剖学講義	講義室	竹田	上肢を構成する要素(領域、骨、関節)を理解し、その大まかな機能を説明できる。
78		9月18日	木	2	解剖学各論5	解剖学講義	講義室	竹田	上肢を構成する個々の骨格、筋肉の構成を理解し、主な神経と血管の成り立ちを理解する。
79		9月18日	木	4			B2実習室		
80		9月18日	木	5	解剖学実習6	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)	腕神経叢を剖出し、その構造と主要な5本の神経の成り立ちを確認すること。筋間中隔と筋膜、神経、血管との関係を理解すること。上腕の屈筋と三角筋を確認し、その作用を理解すること(§11-12)。
81		9月18日	木	6			B2実習室		
82		9月19日	金	1	骨学講義3	解剖学講義	講義室	水藤	上肢帯、上腕、前腕、手の骨格とその機能を学ぶ。
83		9月19日	金	2	骨学講義4	解剖学講義	講義室	水藤	
84		9月19日	金	4			5階実習室		
85		9月19日	金	5	骨学実習2	解剖学実習	5階実習室	全員(水)	長管骨、扁平骨の違いを理解し、横断面で骨梁を確認する。肩関節、肘関節の構造の違いが運動の自由度に反映されていることを確認する。
86		9月19日	金	6			5階実習室		
87		9月22日	月	1			B2実習室		
88		9月22日	月	2	解剖学実習7	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)	肩甲骨と体幹を結ぶ筋群の構成と機能を理解する。上腕伸筋の構造を確認し、屈筋と比較する。肩甲骨周囲の血管や神経を同定し、体幹と上肢帯を繋ぐ筋を切断して上肢を外す(§13-15)。
89		9月22日	月	3			B2実習室		
90		9月22日	月	4			B2実習室		
91		9月22日	月	5	解剖学実習8	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)	前腕の屈筋群、伸筋群、回内回外筋の剖出を行い、手根管、腱鞘、滑液鞘などの運動器の基本概念を理解する(§16-17)。
92		9月22日	月	6			B2実習室		
93		9月25日	木	1	解剖学各論6	解剖学講義	講義室	竹田	脊椎骨と脊柱起立筋の構造と機能を理解する。鼠径部の解剖とその臨床的意義を理解する。
94		9月25日	木	2	解剖学各論7	解剖学講義	講義室	竹田	
95		9月25日	木	3	解剖学各論8	解剖学講義	講義室	竹田	
96		9月25日	木	4			B2実習室		
97	9月25日	木	5	解剖学実習9	解剖学実習	B2実習室	全員(田)	手掌の浅層にある筋肉、血管、神経などの同定を行う。腱膜の概念を理解する(§18-19)。	
98	9月25日	木	6			B2実習室			
99	9月26日	金	1			B2実習室			
100	9月26日	金	2	解剖学実習10	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)	巧緻運動に関わる手掌、手指の筋群を剖出し、その機能を理解する。上肢の血管系、神経系に関する知識をまとめる(§20-21)。	
101	9月26日	金	3			B2実習室			
102	9月26日	金	4			B2実習室			
103	9月26日	金	5	解剖学実習11	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)	上肢の関節、特に肩関節、肘関節、手関節を例にして滑膜性関節の構造を理解する。また、これら2つの関節の運動様式を学習する(§22-25)。	
104	9月26日	金	6			B2実習室			
105	ユニット4(体幹の構造と機能を説明できるようにする)	9月29日	月	4			B2実習室		
106		9月29日	月	5	解剖学実習12	解剖学実習	B2実習室	全員(竹)	脊柱と脊柱起立筋の関係を理解する。また脊髄と脊髄硬膜の位置関係を観察する。脊髄根と脊髄神経節の関係を整理する。OPLLなどの病態と関係する靭帯群を観察する(§26-28)。
107		9月29日	月	6			B2実習室		
108		9月30日	火	1	解剖学各論9	解剖学講義	講義室	有澤	胸郭の構造を理解し、その入れ子である胸膜腔を例として体腔の概念を理解する。胸部内臓(心臓、肺、胸腺)や大血管、神経系の構造と機能を理解する。
109		9月30日	火	2	解剖学各論10	解剖学講義	講義室	有澤	
110		9月30日	火	3	解剖学各論11	解剖学講義	講義室	有澤	
111		9月30日	火	4			B2実習室		
112	9月30日	火	5	解剖学実習13	解剖学実習	B2実習室	全員(井)	胸郭の呼吸筋と肋骨の位置関係を観察する。腹壁を構成する筋群の重層性とその繋がりを観察する。鼠径管の構造を立体的に理解し、それを構成する腹筋の構造を観察する(§29-31)。	
113	9月30日	火	6			B2実習室			
114	10月1日	水	2	本試験解説1	試験解説	講義室	出題者	本試験1の答案を返却し、解答のポイントに関する解説を行う。	
115	(胸部の構造と胸郭内臓器の関係性を理解する)	10月2日	木	1	組織学各論7	組織学講義	講義室	宮下	内分泌器の種類、基本構造と機能を理解する。主要内分分泌腺である下垂体、松果体、甲状腺、副甲状腺、副腎の構造と機能を理解する。
116		10月2日	木	2	組織学各論8	組織学講義	講義室	宮下	
117		10月2日	木	3	組織学各論9	組織学講義	講義室	宮下	
118		10月2日	木	4			5階実習室		
119		10月2日	木	5	組織学実習7	組織学実習	5階実習室	3名(宮)	光学顕微鏡で見える内分泌器の構造を理解し、それを適切なスケッチで表現し、他者にわかるように説明できる。特にそれぞれに特徴的な構造を捉える。
120		10月2日	木	6			5階実習室		
121		10月3日	金	1			B2実習室		
122		10月3日	金	2	解剖学実習14	解剖学実習	B2実習室	4名(有)	鼠径輪を観察し、鼠径ヘルニアの病態を理解する。また腹壁に遺残する体循環の名残を確認し、腹膜や臍との関係を理解する(§32-34)。
123		10月3日	金	3			B2実習室		
124		10月3日	金	4			B2実習室		
125		10月3日	金	5	解剖学実習15	解剖学実習	B2実習室	4名(有)	胸郭と胸膜腔の関係を理解する。心臓、肺、胸腺などの相互の位置関係を確認する。肺門から出入りする気管や血管、神経の位置関係を確認する。肺の主な構造を理解する(§35-37)。
126		10月3日	金	6			B2実習室		
127		10月6日	月	1	組織学各論10	組織学講義	講義室	竹田	呼吸器系の微細形態の基本構築とその機能を理解する。
128		10月6日	月	2	組織学各論11	組織学講義	講義室	竹田	嗅覚上皮の構造を理解し、呼吸上皮との違いを理解する。嗅覚受容の基盤を理解する。
129	10月6日	月	4			5階実習室			
130	10月6日	月	5	組織学実習8	組織学実習	5階実習室	3名(竹)	光学顕微鏡で見える呼吸器の構造を理解し、それを適切なスケッチで表現し、他者にわかりやすく要点を説明できること。	
131	10月6日	月	6			5階実習室			
132	10月7日	火	1	発生学4	発生学講義	講義室	宮下	呼吸器発生の概要を理解し、説明できるようになること。主な先天異常を理解すること。	
133	10月7日	火	2	発生学5	発生学講義	講義室	宮下	循環器発生の概要を理解し、説明できるようになること。主な先天異常を理解すること。	
134	10月7日	火	3	発生学6	発生学講義	講義室	宮下		
135	10月7日	火	4			B2実習室			
136	10月7日	火	5	解剖学実習16	解剖学実習	B2実習室	4名(田)	横隔神経、甲状腺、副甲状腺などの位置関係を観察する。また反回神経の縦隔における走行を確認する。心膜腔の概念を理解し確認する。心臓の外景を観察する。(§38-40)。	
137	10月7日	火	6			B2実習室			
138	(腹部の構造と腹腔臓器)	10月8日	水	2	臨床解剖学1	解剖学講義	講義室	三澤(外科)	臨床医学から見た解剖学の意義を学び、最近の最新の腹部外科を知る。
139		10月9日	木	1	組織学各論12	組織学講義	講義室	水藤	消化管の基本的な構成、4層の組織構造と機能を理解する。代表的な消化管の構造と機能を理解する。その組織構築の共通性を理解する。
140		10月9日	木	2	組織学各論13	組織学講義	講義室	水藤	
141		10月9日	木	3	組織学各論14	組織学講義	講義室	水藤	
142		10月9日	木	4			5階実習室		
143		10月9日	木	5	組織学実習9	組織学実習	5階実習室	3名(水)	光学顕微鏡で見える消化管の構造を理解し、それを適切なスケッチで表現し、他者にわかるように説明できる。特に領域別の構造の差を捉える。
144		10月9日	木	6			5階実習室		
145		10月10日	金	1	組織学各論15	組織学講義	講義室	竹田	消化腺の基本的な構成、組織学的一般原則と機能を理解する。唾液腺、肝臓、膵臓、胆嚢の組織学的構造と機能を理解する。
146		10月10日	金	2	組織学各論16	組織学講義	講義室	竹田	
147		10月10日	金	3	組織学各論17	組織学講義	講義室	竹田	
148		10月10日	金	4			5階実習室		
149		10月10日	金	5	組織学実習10	組織学実習	5階実習室	3名(竹)	光学顕微鏡で見える消化腺の構造を理解し、それを適切なスケッチで表現し、他者にわかるように説明できる。特に領域別の構造の差を捉える。
150		10月10日	金	6			5階実習室		
151		10月14日	火	1	解剖学各論12	解剖学講義	講義室	宮下	腹腔と腹膜腔、腹膜、腸間膜の概念と構造を理解する。

152	ユニット6 器の関係性を理解する)	10月14日	火	2	解剖学各論13	解剖学講義	講義室	宮下	腹膜腔内臓器、腹膜後臓器、腹部の血管、臓性神経系の基本概念と構造を理解する。	
153		10月14日	火	3	解剖学各論14	解剖学講義	講義室	宮下		
154		10月14日	火	4	解剖学実習17	解剖学実習	B2実習室	4名(中)		
155		10月14日	火	5			B2実習室			
156		10月14日	火	6			B2実習室			
157		10月16日	木	1	神経解剖学各論1	神経解剖学	講義室	竹田		自律神経系の総覧を行なう。自律神経系の基礎概念を学び、交感神経系、副交感神経系の構造と機能を理解する。特に瞳孔径の調節機構、心拍数の調節、消化管の運動に関して学習を深め、生理学学習の基盤を形成する。
158		10月16日	木	2	神経解剖学各論2	神経解剖学	講義室	竹田		
159		10月16日	木	4	解剖学実習18	解剖学実習	B2実習室	4名(宮)		
160		10月16日	木	5			B2実習室			
161		10月16日	木	6			B2実習室			
162		10月17日	金	1	統合講義・演習2	統合講義	講義室	竹田		ここまで学習した内容に基づいて統合的な演習を行う。試験に備えたポイントの復習も実施する。
163		10月17日	金	2			講義室	竹田		
164		10月17日	金	4	解剖学実習19	解剖学実習	B2実習室	4名(宮)		
165	10月17日	金	5	B2実習室						
166	10月17日	金	6	B2実習室						
167	試験②	10月20日	月	1	本試験	本試験2	講義室	担当者	ここまで学習した内容(77~166回まで)に基づいて統合的な試験を行う。必ず覚えるべき知識を問うと同時に解剖学、組織学、発生学、神経解剖学を跨いだ総合的な観点からの知識も問う。	
168		10月20日	月	2			講義室			
169	ユニット6 (腹部の構造と腹腔臓器の関係性を理解する)	10月21日	火	1	発生学7	発生学講義	講義室	宮下	腹壁、腹膜、消化管の発生概要を理解し説明できること。主な先天異常を理解すること。消化腺(肝臓、膵臓)の発生概要を理解し説明できること。主な先天異常を理解すること。	
170		10月21日	火	2	発生学8	発生学講義	講義室	宮下		
171		10月21日	火	3	発生学9	発生学講義	講義室	宮下		
172		10月23日	木	1	臨床解剖学2	特別講義	講義室	4名(高本、竹田)		
173		10月23日	木	2	解剖学実習20	解剖学実習	B2実習室			
174		10月23日	木	3	解剖学実習20	解剖学実習	B2実習室	4名(宮)		
175		10月23日	木	4	解剖学実習21	解剖学実習	B2実習室			
176	10月23日	木	5	解剖学実習21	解剖学実習	B2実習室	4名(宮)			
177	10月23日	木	6	解剖学実習21	解剖学実習	B2実習室				
178	ユニット7(下肢の構造を理解し、その機能を説明できるように)	10月24日	金	1	解剖学各論15	解剖学講義	講義室	田中	下肢、下肢帯を構成する要素とその基本骨格を挙げ、その大まかな機能を説明できる。下肢を構成する骨格、筋肉を体系化して理解し、主な神経と血管の走行を理解する。	
179		10月24日	金	2	解剖学各論16	解剖学講義	講義室	田中		
180		10月24日	金	3	解剖学各論17	解剖学講義	講義室	田中		
181		10月24日	金	4	解剖学実習22	解剖学実習	B2実習室	4名(宮)		
182		10月24日	金	5			B2実習室			
183		10月24日	金	6			B2実習室			
184		10月27日	月	4	解剖学実習23	解剖学実習	B2実習室	4名(有)		
185		10月27日	月	5			B2実習室			
186		10月27日	月	6			B2実習室			
187		10月28日	火	1	解剖学実習24	解剖学実習	B2実習室	4名(有)		
188		10月28日	火	2			B2実習室			
189		10月28日	火	3			B2実習室			
190		10月28日	火	4	解剖学実習25	解剖学実習	B2実習室	4名(水)		
191	10月28日	火	5	B2実習室						
192	10月28日	火	6	B2実習室						
193	10月30日	木	4	解剖学実習26	解剖学実習	B2実習室	4名(水)			
194	10月30日	木	5			B2実習室				
195	10月30日	木	6			B2実習室				
196	10月31日	金	1	骨学講義5	解剖学講義	講義室	水藤	下肢を構成する骨を領域毎に分類しその特徴を理解し、大まかな形態を図示して説明できる。また主な関節の運動に関して説明できる。さらに上肢との違いを理解する。		
197	10月31日	金	2	骨学講義6	解剖学講義	講義室	水藤			
198	10月31日	金	4	骨学実習3	解剖学実習	5階実習室	4名(水)			
199	10月31日	金	5			5階実習室				
200	10月31日	金	6			5階実習室				
201	ユニット8(骨盤の構造と骨盤臓器の関係性を理解する)	11月4日	火	1	解剖学各論18	解剖学講義	講義室	有澤	骨盤の概要を理解し、腹腔との関係性を説明できる。骨盤内臓器の概要を理解し、併せて会陰、ダグラス窩などを理解する。	
202		11月4日	火	2	解剖学各論19	解剖学講義	講義室	有澤		
203		11月4日	火	3	解剖学各論20	解剖学講義	講義室	有澤		
204		11月4日	火	4	解剖学実習27	解剖学実習	B2実習室	4名(田)		
205		11月4日	火	5			B2実習室			
206		11月4日	火	6			B2実習室			
207		11月5日	水	2	本試験解説2	試験解説	講義室	担当者		本試験2の答案を返却し、解答のポイントに関する解説を行う。
208		11月6日	木	1	解剖学実習28	解剖学実習	B2実習室	4名(中)		
209		11月6日	木	2			B2実習室			
210		11月6日	木	3			B2実習室			
211	11月6日	木	4	解剖学実習29	解剖学実習	B2実習室	4名(猫)			
212	11月6日	木	5			B2実習室				
213	11月6日	木	6			B2実習室				
214	11月7日	金	4	解剖学実習30	解剖学実習	B2実習室	4名(中)			
215	11月7日	金	5			B2実習室				
216	11月7日	金	6			B2実習室				
217	ユニット9(頭頸部の構造を理解し、主要な臓器を説明できること。中枢神経機能を理解すること)	11月10日	月	1	解剖学各論21	解剖学講義	講義室	中倉	頭部を神経頭蓋、内臓頭蓋、顔面頭蓋に分け、そこに存在する主な構造を理解する。頭部に存在する主要な臓器(甲状腺、喉頭、咽頭など)の局所解剖を理解する。	
218		11月10日	月	2	解剖学各論22	解剖学講義	講義室	中倉		
219		11月10日	月	3	解剖学各論23	解剖学講義	講義室	中倉		
220		11月10日	月	4	解剖学実習31	解剖学実習	B2実習室	4名(中)		
221		11月10日	月	5			B2実習室			
222		11月10日	月	6			B2実習室			
223		11月11日	火	1	骨学講義7	解剖学講義	講義室	中倉	頭蓋を構成する骨の特徴を理解し、その大まかな形態を図示して説明できること。個々の骨よりは神経頭蓋、内臓頭蓋それぞれの成り立ちと、外傷を受けやすい側頭部、眼窩部などに重点をおく。	
224		11月11日	火	2	骨学講義8	解剖学講義	講義室	中倉		
225		11月11日	火	4	解剖学実習32	解剖学実習	B2実習室	4名(中)		
226		11月11日	火	5			B2実習室			
227		11月11日	火	6			B2実習室			
228		11月13日	木	1	発生学10	発生学講義	講義室	猫沖	頭頸部の発生(咽頭弓を含む)とその異常を理解する。中枢神経系の発生とその異常を理解する。	
229		11月13日	木	2	発生学11	発生学講義	講義室	猫沖		
230	11月13日	木	3	発生学12	発生学講義	講義室	猫沖			

231	そこに存在する重要な神経系の構造と主な機能(と)	11月13日	木	4			B2実習室			
232		11月13日	木	5	解剖学実習33	解剖学実習	B2実習室	4名(宮)	内頭蓋底の主要な構造を脳神経や血管と共に理解する。顔面を折半し口腔内の諸構造を確認する(§78-79)。	
233		11月13日	木	6			B2実習室			
234		11月14日	金	1	統合講義・演習3	統合講義	講義室	竹田	ここまで学習した内容に基づいて統合的な演習を行う。試験に備えた復習も実施する。	
235		11月14日	金	2			講義室	竹田		
236		11月14日	金	4			B2実習室			
237	11月14日	金	5	骨学実習4	解剖学実習	B2実習室	4名(中)	主要な神経、血管が通る穴や溝を観察してこれらの三次元的な走行を理解する。頭蓋骨内に存在する遠隔受容器と脳の位置関係を理解する。		
238	11月14日	金	6			B2実習室				
239	試験③	11月17日	月	1	本試験	本試験3	講義室	担当者	ここまで学習した内容(169~238回まで)に基づいて統合的な試験を行う。必ず覚えるべき知識を問うのと同時に解剖学、組織学、発生学、神経解剖学を跨いだ総合的な観点からの知識も問う。	
240		11月17日	月	2						
241	ユニット9(頭頸部の構造を理解し、そこに存在する重要な臓器を説明できること。中枢神経系の構造と主な機能を理解すること)	11月18日	火	1	組織学各論18	組織学講義	講義室	有澤	視覚器の基本構造と機能を理解する。網膜、ブドウ膜、角膜についての理解を深める。聴覚器の基本構造と機能を理解する。腹迷路の構築と骨迷路との関係を理解する。	
242		11月18日	火	2	組織学各論19	組織学講義	講義室	有澤		
243		11月18日	火	3	組織学各論20	組織学講義	講義室	有澤		
244		11月18日	火	4			B2実習室			
245		11月18日	火	5	解剖学実習34	解剖学実習	B2実習室	4名(有)		
246		11月18日	火	6			B2実習室			
247		11月20日	木	1	神経解剖学各論3	神経解剖学	講義室	竹田		
248		11月20日	木	2	神経解剖学各論4	神経解剖学	講義室	竹田		
249		11月20日	木	4	神経科学	特別講義	講義室	岡部		最近の神経科学の進歩に関してその知見を紹介する。
250		11月20日	木	5	神経科学	特別講義	講義室	岡部		
251		11月21日	金	1	神経解剖学各論5	神経解剖学	講義室	竹田		どうやって身体は動くのか:運動システム(錐体路、錐体外路)とそのモニター系である感覚システム(4つの感覚モダリティ)の主な構成要素を理解する。また神経伝導路の原則を学び、主な伝導路の中継核を覚える。
252		11月21日	金	2	神経解剖学各論6	神経解剖学	講義室	竹田		
253		11月21日	金	3	神経解剖学各論7	神経解剖学	講義室	大野@生理		
254		11月21日	金	4			5階実習室			
255		11月21日	金	5	組織学実習11	組織学実習	5階実習室	3名(有)		
256		11月21日	金	6			5階実習室			
257		11月25日	火	1	神経解剖学各論8	神経解剖学	講義室	宮下		生命維持装置としての脳幹を理解する。発生学的な基盤に立ち主神経核の配置の規則を理解し、同時に脳幹網様体の主な機能を考察する。
258		11月25日	火	2	神経解剖学各論9	神経解剖学	講義室	宮下		
259		11月25日	火	4			B2実習室			
260		11月25日	火	5	解剖学実習35	解剖学実習	B2実習室	4名(有)		
261		11月25日	火	6			B2実習室			
262		11月27日	木	1	神経解剖学各論10	神経解剖学	講義室	中倉		自律神経系の最高中枢である間脳の構築を理解する。感覚の中継基地である視床に関してはその主な核を、ホメオスタシス維持の中枢である視床下部に関しては主神経核について学ぶ。
263		11月27日	木	2	神経解剖学各論11	神経解剖学	講義室	中倉		
264		11月27日	木	4			B2実習室			
265		11月27日	木	5	解剖学実習36	解剖学実習	B2実習室	4名(田)		
266		11月27日	木	6			B2実習室			
267		11月28日	金	1	神経解剖学各論12	神経解剖学	講義室	竹田		巧緻運動はどうやって可能となるのか:錐体外路系としての小脳と大脳基底核の神経解剖学を学ぶ。またパーキンソン病や小脳失調をモデルに大脳基底核や小脳の機能を理解する。
268		11月28日	金	2	神経解剖学各論13	神経解剖学	講義室	竹田		
269		11月28日	金	3	神経解剖学各論14	神経解剖学	講義室	小林@神内		
270		11月28日	金	4			B2実習室			
271		11月28日	金	5	解剖学実習37	解剖学実習	B2実習室	4名(猫)		
272		11月28日	金	6			B2実習室			
273		12月1日	月	1	神経解剖学各論15	神経解剖学	講義室	有澤		情動や感情、記憶の座である大脳辺縁系の構造と機能を理解する。Papez回路やYakovlev回路などに基づいて情動生成のメカニズムを概説できる。
274		12月1日	月	2	神経解剖学各論16	神経解剖学	講義室	有澤		
275		12月1日	月	4			5階実習室			
276		12月1日	月	5	神経組織学実習1	神経組織学実習	5階実習室	3名(竹)		
277	12月1日	月	6	5階実習室						
278	12月2日	火	1	神経解剖学各論17	神経解剖学	講義室	井上	大脳新皮質の6層の組織構築を理解し、その特徴を説明できること。また領域分類(Brodman)の主なものの場所を同定し、その機能を説明できること。さらに新皮質高次機能の実行系統を適切な神経科学用語で説明できること。		
279	12月2日	火	2	神経解剖学各論18	神経解剖学	講義室	井上			
280	12月2日	火	3	神経解剖学各論19	神経解剖学	講義室	林@生理			
281	12月2日	火	4			5階実習室				
282	12月2日	火	5	神経組織学実習2	神経組織学実習	5階実習室	3名(田)			
283	12月2日	火	6			5階実習室				
284	12月3日	水	2	本試験解説3	試験解説	講義室	担当者	本試験3の答案を返却し、解答のポイントに関する解説を行う。		
285	12月4日	木	1			B2実習室				
286	12月4日	木	2	神経解剖学実習1	神経解剖学実習	B2実習室	全員(田)			
287	12月4日	木	3			B2実習室				
288	12月4日	木	4			B2実習室				
289	12月4日	木	5	神経解剖学実習2	神経解剖学実習	B2実習室	全員(田)			
290	12月4日	木	6			B2実習室				
291	12月5日	金	1	臨床解剖学3	神経解剖学	講義室	辛	臨床医学から見た解剖学の意義を学び、最新の脳神経外科を知る。		
292	大掃除	12月5日	金	3						
293		12月5日	金	4	納棺・清掃	納棺・大掃除	B2実習室	全員	解剖を終了したご遺体を納棺し、実習室の清掃を行う。	
294		12月5日	金	5						
295		12月5日	金	6						
296	12月8日	月	1	組織学各論21						組織学講義
297	12月8日	月	2	組織学各論22	組織学講義	講義室	井上	泌尿器を構成する主な臓器(腎臓、膀胱、尿路)それぞれの微細構造を理解する。		
298	12月8日	月	3	発生学13	発生学講義	講義室	猫沖	泌尿器発生の概要を理解し、説明できること。主な先天異常を理解すること。		
299	12月8日	月	4			5階実習室				
300	12月8日	月	5	組織学実習12	組織学実習	5階実習室	3名(井)			
301	12月8日	月	6			5階実習室				
302	12月9日	火	1	組織学各論23	組織学講義	講義室	猫沖	女性生殖器の基本構造と機能を理解する。		
303	12月9日	火	2	組織学各論24	組織学講義	講義室	猫沖	女性生殖器のうち、特に子宮内膜、卵巣、卵管、膣(子宮頸管)の構造と機能を理解する。		
304	12月9日	火	3	発生学14	発生学講義	講義室	猫沖	生殖器発生の概要を理解し、説明できること。主な先天異常を理解すること。		
305	12月9日	火	4			5階実習室				
306	12月9日	火	5	組織学実習13	組織学実習	5階実習室	3名(猫)			
307	12月9日	火	6			5階実習室				
308	12月11日	木	1	組織学各論25	組織学講義	講義室	井上	男性生殖器の基本構造と機能を理解する。		
309	12月11日	木	2	組織学各論26	組織学講義	講義室	井上	男性生殖器のうち、特に精巣、精巣上体、前立腺の構造と機能を理解する。		

310	の 関 係 性 を	12月11日	木	4		5階実習室			
311		12月11日	木	5	組織学実習14	組織学実習	5階実習室	3名(井)	光学顕微鏡で見える男性生殖器の構造を理解し、それを適切なスケッチで表現し、他者にわかるように説明できること。特に領域別の構造の差を捉える。
312		12月11日	木	6			5階実習室		
313		12月12日	金	1	統合講義・演習4	統合講義	講義室	竹田	ここまで学習した内容に基づいて統合的な演習を行う。試験に備えた復習も実施する。
314		12月12日	金	2			講義室	竹田	
315		④ 試 験	12月15日	月	1	本試験	本試験4	講義室	担当者
316	12月15日		月	2					
317		12月22日	月	1	本試験解説4	試験解説	講義室	出題者	本試験4の答案を返却し、解答のポイントに関する解説を行う。